

# くすりのしおり

内服剤

2017年03月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：ウインタミン細粒（10%）

主成分：クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩 (Chlorpromazine phenolphthalinate)

剤形：白色の細粒剤

シート記載：



## この薬の作用と効果について

脳内の神経伝達物質（主にドパミン）の受容体を遮断し、幻覚や妄想、概念の統合障害、躁状態、強い不安感や緊張感などの精神状態を安定させる作用および悪心・嘔吐を改善させる作用があります。

通常、統合失調症、躁病、神経症による不安・緊張・抑うつ、悪心・嘔吐、しゃっくり、破傷風に伴う痙攣の治療や、麻酔前、催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強に用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。脳障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・精神科領域：通常、1日0.5～4.5g（クロルプロマジン塩酸塩として50～450mg）を数回に分けて服用します。  
その他の場合：通常、成人は1日0.3～1.0g（クロルプロマジン塩酸塩として30～100mg）を数回に分けて服用します。  
いずれも、治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたときにすぐに飲んでください。ただし、次に飲む時間が近いときは、1回とばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・眠くなったり注意力・集中力が落ちたりすることがあるので、自動車の運転や危険をとまなう機械の操作は避けてください。
- ・飲酒により薬の作用や副作用が強まることがあります。
- ・有機リン系の殺虫剤に接触するとその毒性を強めることがあるので、接触しないよう注意してください。
- ・この薬を飲んでいる間はできるだけ直射日光を避けるように注意してください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、鼻閉、パーキンソン症候群〔手指振戦（手の震え）、筋強剛（筋肉のこわばり）〕、口渇、便秘、倦怠感、過敏症状、光線過敏症などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・筋肉がこわばる、頻脈、発熱〔悪性症候群〕
- ・めまい、動悸、息切れ〔突然死、心室頻拍〕
- ・動悸や息切れ、発熱、のどの痛み〔再生不良性貧血、溶血性貧血、無顆粒球症、白血球減少〕
- ・便秘、お腹がはる、激しい腹痛〔痙攣性イレウス〕
- ・舌を動かしたり出し入れしたりする、絶えず嘔むような口の動き、身体が意思に反して動く〔遅発性ジスキネジア、遅発性ジストニア〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。